

〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の
考え方

編集方針

会社情報

コーポレートミッション

新型コロナウイルス感染症への対応と
影響

森永乳業のサステナビリティ

〉 方針・考え方

〉 体制

ステークホルダーとコミュニケーション
外部イニシアティブ・団体への参加
社外からの評価・表彰

7つの重要取組課題

- 健康・栄養
- 環境
- 人権
- 供給
- 次世代育成
- 人財育成
- コーポレート・ガバナンス

方針等

第三者保証

国連グローバル・コンパクト対照表

GRIスタンダード対照表

森永乳業のサステナビリティ

方針・考え方

サステナビリティの考え方

森永乳業グループは10年先を見据えた「森永乳業グループ10年ビジョン」を2019年に制定し、『食のおいしさ・楽しさ』と『健康・栄養』を両立した企業へ』『世界で独自の存在感を発揮できるグローバル企業へ』『サステナブルな社会の実現に貢献し続ける企業へ』を当社グループのありたい姿と決めました。この考えのもと、2022年3月期までの中期経営計画における3つの基本方針のひとつに「経営理念実現に向けたESGを重視した経営の実践」を掲げ、自社の商品・サービス、活動を通じて社会課題を解決し、社会とともに持続的に成長することを目指すため7つの重要取組課題を策定しKPIを設定しました。森永乳業グループでは、7つの重要取組課題に取り組むことで、「笑顔あふれる豊かな社会づくり」に貢献していきます。

体制

サステナビリティ推進体制

森永乳業は、社長を委員長とするサステナビリティ委員会のもと、グループ全体でサステナビリティ経営を推進しています。2021年には、より加速度的にサステナビリティ経営を推進するため、CSR推進部をサステナビリティ推進部に改称、社長直轄本部として新設したサステナビリティ本部の傘下に位置付けることにより、サステナブルな社会実現のためにスピードを上げて取り組む体制を構築しています。

サステナビリティ委員会は、取締役会の機能を補強するための特別委員会組織として設置され、社会とともに持続的に成長することを目指すため策定した7つの重要取組課題に対し、対応、進捗、確認を含む議論をしています。

「部門名称改称の想い」

2021年6月1日より、CSR推進部はサステナビリティ推進部に改称し、あわせて新設する社長直轄のサステナビリティ本部の中核組織の一つとして新たなスタートを切りました。

近年SDGs達成に向けた取り組み、特に気候変動などの社会課題解決に向けた取り組みは、企業の持続的な発展に欠くことのできないテーマとなっています。そのキーワードは「サステナビリティ」です。

サステナビリティ推進部は、部門名称の改称を機に、これまでの取り組みステージを一段上げ、森永乳業のサステナビリティ活動を加速させるとともに、持続可能な社会の実現に向けて取り組んでまいります。

サステナビリティ委員会

社長を委員長とし、役員および全本部長を委員として構成し、事務局はサステナビリティ推進部が務めています。定例委員会は原則として半年に1回開催しています。

サステナビリティ推進部

企画グループ、推進グループ、環境マネジメントグループで構成されます。

企画グループ : ESG中期経営計画の企画・立案、サステナビリティ委員会の運営、サステナビリティに関する社内外への情報発信、コーポレートブランド戦略の推進、企業文化・組織風土改善施策の立案、実施および推進

推進グループ : 各事業所におけるサステナビリティ活動の支援、工場見学・育児相談・食育などの推進

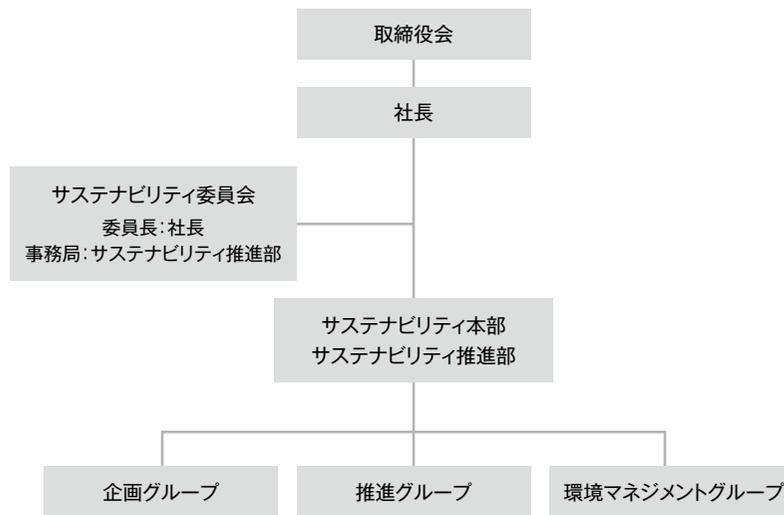
環境マネジメントグループ : 全社的な環境対策の企画・推進、環境に関わる戦略全般の立案、ISO14001環境マネジメントシステムの運用・管理

〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の考え方
 編集方針
 会社情報
 コーポレートミッション
 新型コロナウイルス感染症への対応と影響
森永乳業のサステナビリティ
 方針・考え方
 > 体制
 > ステークホルダーとコミュニケーション
 外部イニシアティブ・団体への参加
 社外からの評価・表彰
 7つの重要取組課題
 ●健康・栄養
 ●環境
 ●人権
 ●供給
 ●次世代育成
 ●人財育成
 ●コーポレート・ガバナンス

方針等
 第三者保証
 国連グローバル・コンパクト対照表
 GRIスタンダード対照表

サステナビリティ推進体制



WEB コーポレート・ガバナンス報告書
 ▶ <https://www.morinagamilk.co.jp/ir/management/governance.html>

ステークホルダーとコミュニケーション

コミュニケーションの方法

森永乳業は各ステークホルダーについて、以下の方法を使用してコミュニケーションを行っています。
 2020年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点からコミュニケーションの方法を変更した活動もありました。

REPORT ▶「新型コロナウイルス感染症への対応と影響」P.10参照

ステークホルダー	コミュニケーション方法と実績
お客さま	①お客さま相談室 相談件数：約6万5千件 ②顧客満足度アンケート調査 ③エンゼル110番 相談件数：9,941件 ④キッズアニア、森と食の探検隊などの次世代支援活動
株主・投資家	①株主総会（2021年6月） 議決権行使数：422,198個 ②個人投資家説明会：0回* ※2020年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 決算説明会：4回 スモールミーティング：2回 ③機関投資家・アナリスト面談：393件 ④機関投資家・アナリスト向け事業説明会：1回
取引先	①サプライヤー監査：16件 ②CSR調達アンケート：3年に1回実施（2019年実施。次回は2022年） ③品質向上セミナー・物流勉強会 ④調達先説明会 ③④とも2020年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
従業員	①生き生きサーベイ（従業員満足度調査） 2020年11月実施 ②キャリア調査 2020年12月実施 ③夢共創フォーラムを通じての対話 2020年11月実施 166名参加 ④社内報発行：年4回
地域社会	①工場見学 2020年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため受け入れ中止 ②環境保全活動や催事への参加 ③災害時の物資供給 ④フードバンク、こども食堂への商品提供

〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の考え方

編集方針

会社情報

コーポレートミッション

新型コロナウイルス感染症への対応と影響

森永乳業のサステナビリティ

方針・考え方

体制

ステークホルダーとコミュニケーション

外部イニシアティブ・団体への参加

社外からの評価・表彰

7つの重要取組課題

- 健康・栄養
- 環境
- 人権
- 供給
- 次世代育成
- 人財育成
- コーポレート・ガバナンス

方針等

第三者保証

国連グローバル・コンパクト対照表

GRIスタンダード対照表

外部イニシアティブ・団体への参加

森永乳業はサステナブルな社会の実現のため、さまざまなステークホルダーと対話・協働しています。

グローバルおよび日本国内での活動において、サステナブルな経営を実践するため下記団体の理念に賛同を表明もしくはメンバーとして参加しています。

団体名	参加時期・活動内容
国連グローバル・コンパクト 	2018年4月署名 人権の保護、不当な労働の排除、環境への対応、腐敗の防止の4分野10原則に取り組むこの理念に賛同して参加し、自社の経営にも生かしています(トップメッセージ https://www.morinagamilk.co.jp/csr/topmessage/)
持続可能なパーム油のための円卓会議 (RSPO: Roundtable on Sustainable Palm Oil)  私たちの進捗状況を www.rspo.org でチェックしてください	2018年3月加盟 世界的に信頼される認証基準の策定とステークホルダーの参加を通じて、持続可能なパーム油の生産と利用を促進する
持続可能なパーム油ネットワーク (JaSPON) 	2019年4月加盟 パーム油生産における環境面などさまざまな問題を解決するために、日本市場における持続可能なパーム油の調達と消費を推進する
一般社団法人日本乳業協会	2000年3月加盟 牛乳・乳製品についての衛生および品質の向上や、生産技術の改善、知識の普及、消費拡大 ※前身の社団法人日本乳製品協会、社団法人全国牛乳協会、日本乳業協議会より参加

全国牛乳容器環境協議会	1992年8月加盟 牛乳パックなど紙パックのリサイクルを促進する
コンシューマー・グッズ・フォーラム (CGF)	2006年1月加盟 国際的な消費財業界団体。非競争分野における4分野(サステナビリティ、製品安全、ヘルス&ウェルネス、E2EVC)を通じて協働して社会的・環境的課題に取り組む ※前身のCIES(国際チェーンストア協会)より加盟
あふの環	2021年1月加盟 「持続的な生産消費」に向けた取組を進める企業や団体の合同プロジェクト
TCFD (Task Force on Climate-related Financial Disclosures: 気候関連財務情報開示タスクフォース)	2021年3月賛同表明 気候変動によるリスク及び機会が経営に与える財務的影響を評価し、ガバナンス、戦略、リスク管理、指標と目標について開示することを推奨する提言。この提言に賛同を表明しTCFDコンソーシアムにも加盟しています
国際酪農連盟日本国内委員会 (JIDF) ※2021年4月よりJミルク国際委員会に統合	1956年加盟 日本の酪農及び乳業関係者の代表機関としてIDFに加盟し、国際酪農乳業界の科学・技術・経済等の諸問題の解決を国際協力のもとに推進。国際的に関係機関と密接な連絡を図り、日本の酪農及び乳業の振興に寄与する。 ※前身の日本国際酪農連盟より参加
CLOMA (クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス)	2019年加盟 海洋プラスチックごみ問題の解決に向け、業種を超えた幅広い関係者の連携を強めイノベーションを加速するためのプラットフォーム

〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の
考え方

編集方針

会社情報

コーポレートミッション

新型コロナウイルス感染症への対応と
影響

森永乳業のサステナビリティ

方針・考え方

体制

ステークホルダーとコミュニケーション

外部イニシアティブ・団体への参加

＞ 社外からの評価・表彰

7つの重要取組課題

- 健康・栄養
- 環境
- 人権
- 供給
- 次世代育成
- 人財育成
- コーポレート・ガバナンス

方針等

第三者保証

国連グローバル・コンパクト対照表

GRIスタンダード対照表

社外からの評価・表彰

森永乳業は、持続可能な社会の実現に向けた活動を推進している企業グループとして、さまざまな外部機関より高く評価されています。また、商品の品質や研究活動、社会活動について、さまざまな外部機関より表彰をいただいています。(() 内は受賞年月)

評価・表彰	内容
格付け評価	<ul style="list-style-type: none"> ・日本政策投資銀行「DBJ 健康経営格付」最高ランク取得 (2015年12月) ・日本政策投資銀行「DBJ BCM 格付」取得 (2018年3月) ・日本政策投資銀行「DBJ 環境格付」最高ランク取得 (2019年3月) ・「SOMPOサステナビリティインデックス」3年連続構成銘柄選定 (2018年、2019年、2020年 (各年6月)) ・(株)格付投資情報センター (R&I) 発行体格付等 A- (2020年9月)
表彰 (商品)	<ul style="list-style-type: none"> ・「クラフト 無垢 大人の熟成チェダー味」と「クラフト 無垢 大人の熟成ゴーダ味」が、iTQi (国際味覚審査機構) のコンテストで「優秀味覚賞“三ツ星”」と「優秀味覚賞“二ツ星”」を3年連続受賞 (2017年、2018年、2019年 (各年6月)) ・「濃密ギリシャヨーグルト パルテノ プレーン砂糖不使用/プレーン加糖」が、iTQi (国際味覚審査機構) で「優秀味覚賞“二ツ星”」を受賞 (2018年6月) ・「森永ジュレ」シリーズが「2019年マザーズセレクション大賞」を受賞 (2019年11月) ・「トリプルヨーグルト」が日本食糧新聞社第38回食品ヒット大賞「優秀ヒット賞」受賞 (2019年12月) ・「MOW (モウ)」シリーズが、iTQi (国際味覚審査機構) で「優秀味覚賞“三ツ星”」を受賞 (2020年9月)

表彰 (研究活動)

- ・「アロエステロール」の研究開発の成果である、「アロエベラ由来植物ステロールの新規保健機能研究と機能性食品への応用」が、「日本栄養・食糧学会」で「平成30年度技術賞」を受賞 (2018年4月)
- ・森永乳業の「ビフィズス菌M-16V」がシンガポールの「Nutra Ingredients - Asia Awards」で「Infant Nutrition Ingredient of the Year」(乳幼児栄養賞)を受賞 (2019年9月)
- ・森永乳業の「ビフィズス菌BB536」研究が2019年度 日本食品免疫学会「食品免疫産業賞」を受賞 (2019年10月)
- ・ペプチド研究において日本生物工学会 2020年度学会賞 (生物工学論文賞) 受賞 (2020年9月)

表彰 (社会活動)

- ・「健康経営優良法人」大規模法人部門認定 (2020年、2021年 (各年3月))
- ・一般社団法人日本有機資源協会主催「第5回食品産業もったいない大賞」で「審査委員会委員長賞」を受賞 (2018年2月)
- ・「森永リトルエンゼル育成 森と食の探検隊」が、文部科学省主催「青少年の体験活動推進企業表彰」で「審査委員会奨励賞」を受賞 (2018年4月)
- ・「アニュアルレポート」が「International ARC Awards」で4年連続受賞 (2016年、2017年、2018年、2019年 (各年10月))
- ・2020年のLGBTQに関する企業取り組みに対する評価指標「PRIDE指標2020」にて最高評価「ゴールド」を獲得 (2020年)
- ・園児の知育学習雑誌「幼稚園」の付録となった「ピノガチャ」にて「2020日本パッケージングコンテスト 包装アイデア賞」を受賞 (2020年)